

測量・地理空間情報イノベーション大会へのご参加については、  
4月1日(水)より当協会のホームページ上で事前登録を開始しております。

# 測量・地理空間情報イノベーション大会 開催のご案内

当協会の公益事業の一環として、測量・地理空間情報に関する技術とそれを活用した新事業の展開、さらには人材育成や教育研修など、当該分野の技術革新に資する幅広い議論と情報発信の場として、「測量・地理空間情報イノベーション大会」を開催します。

■主催:公益社団法人 日本測量協会  
(日本学術会議協力学術研究団体)

■共催:スペシャリストの会  
(空間情報総括監理技術者の会:SPの会)  
ジオメトリストの会  
(地理空間情報専門技術者の会:GMの会)

■後援:国土交通省 国土地理院

■日時:平成27年6月23日(火)~24日(水)

■会場:東京大学弥生講堂・弥生講堂アネックス  
(東京文京区弥生1-1-1 東京大学弥生キャンパス内)  
・弥生講堂:一条ホール(定員300名)  
および会議室(定員40名)  
・弥生講堂アネックス:セイホクギャラリー  
定員(80名)、エンゼル研究棟講義室  
(定員30名)

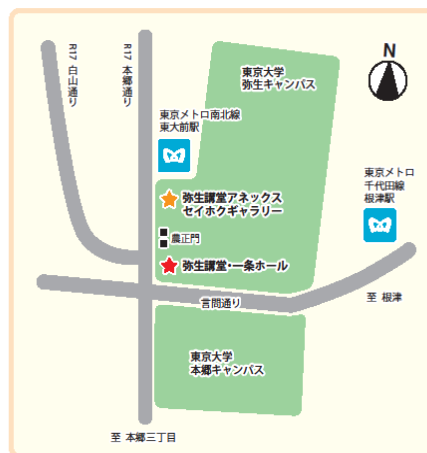
■プログラム(別紙)

■その他:正式版の公開および事前登録を行っております。

※CPDポイントの対象

東京大学弥生講堂 一条ホール/アネックス

THE UNIVERSITY OF TOKYO  
YAYOI AUDITORIUM, ICHIJO HALL/ANNEX



■アクセス:東京メトロ南北線「東大前」駅  
下車 徒歩1分  
東京メトロ千代田線「根津」駅  
下車 徒歩5分



東京大学弥生講堂一条ホール

# 測量・地理空間情報イノベーション大会(初日)

主催:公益社団法人 日本測量協会  
共催:空間情報総括監理技術者(SP)の会  
共催:地理空間情報専門技術者(GM)の会  
後援:国土交通省 国土地理院

平成27年6月23日(火)

時間	弥生講堂・一条ホール	弥生講堂・会議室
9:50-10:10	主催者挨拶・後援挨拶	
10:10-10:35	リアルタイム化する地理空間情報ビジネス 関本義秀(東京大学) (A-1)	(1)測量CPD活用の最新情報 (日本測量協会測量継続教育センター)
10:35-11:00	三次元計測技術とそのビジネス動向 河村幸二(合同会社スパーポイントリサーチ) (A-2)	(2) 測量・地理空間情報継続教育の最新動向 (日本測量協会測量継続教育センター)
11:00-11:10	休憩	休憩
11:10-11:35	地理空間情報の可視化とデータマネジメントビジネス 浜谷雅秀(株)価値創造技術研究所) (A-3)	「女性の技術力向上部会」設立報告会 (1) 設立主旨について(日本測量協会) (2) これまでの活動について(部会長)
11:35-12:00	赤色立体図表現と新たなビジネスへの展開 千葉達朗(アジア航測株) (A-4)	(3) これからの活動計画について(部会長) (4) 質疑応答など
12:00-13:00	昼休み	昼休み
13:00-14:00	<b>特別講演</b> 過去・現在から未来を語る 一測量界と歩んだ半世紀一 村井俊治(公益社団法人日本測量協会会長) (A-5)	
14:00-14:10	休憩	休憩
14:10-14:35	三次元空間情報を活用した次世代の土木施工管理技術 澤 正樹(株)安藤・間) (A-6)	14:10-16:10 「地理空間情報の可視化」 (株)価値創造技術研究所 浜谷雅秀氏らによる解説と実体験
14:35-15:00	屋内測位技術の動向とそのビジネスへの適用 小檜山智久(株)日立産機システム) (A-7)	
15:00-15:15	休憩	
15:15-15:40	地理空間情報を活用したクリーンエネルギー事業 加藤 哲(国際航業株) (A-8)	
15:40-16:05	地理空間情報を活用した物流支援サービス事業 田中秀樹(株)パスコ) (A-9)	
16:05-16:30	地方創生における地理空間情報の果たす役割 神原孝行(株)五星) (A-10)	
16:30-16:55	地理空間情報を活用した道路・構造物を対象とした維持管理事業 大伴真吾(朝日航洋株) (A-11)	

17:30-19:00	<b>懇親会(有料) 会場:弥生講堂内</b> ※事前申込です。懇親会費(2,000円)は当日受付でお支払い下さい。キャンセルは、6月10日(水)まで。
-------------	---

# 測量・地理空間情報イノベーション大会(2日目)

主催:公益社団法人 日本測量協会  
 共催:空間情報総括監理技術者(SP)の会  
 共催:地理空間情報専門技術者(GM)の会  
 後援:国土交通省 国土地理院

平成27年6月24日(水)

時間	弥生講堂・一条ホール	弥生講堂・会議室	弥生講堂アネックス・エンゼル研究棟	弥生講堂アネックス・セイホクギャラリー
9:10-9:30	<b>MMSの最新動向を知る</b> MMSの現状と今後の動向 西村芳夫(㈱アスコ) (B-1)	<b>測位の最新動向を知る</b> 測位の現状と今後の動向 木寺幸司(㈱日本測量協会) (D-1)	<b>高分解能衛星の最新動向を知る</b> 高分解能衛星の現状と今後の動向 望月貴一郎(㈱バスコ) (G-1)	10:00-17:00 <b>第26回 「応用測量技術研究発表会」</b>
9:30-9:50	<b>その1:システムの最新動向</b> 計測車両・機器の最新動向 小川 満(㈱トプコン) (B-2)	高精度測位社会に向けて 小林三昭(ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)) (D-2)	<b>高分解能衛星の今とこれから</b> 世界最高峰の分解能と位置精度を持つ衛星 画像を活用した高付加価値製品・サービス 若松健司(㈱NTTデータ) (G-2)	
9:50-10:10	<b>海外でのセンサの最新動向</b> 稲葉伸二(㈱みるくる) (B-3)	<b>ダイバーシティ・ナビゲーションに向けた技術開発</b> 小池義昌(NTTサービスエボリューション研究所) (D-3)	人工衛星 SAR衛星(ALOS,Terra SAR-X,RADARSAT)の最新動向 乾達雄(㈱バスコ) (G-3)	
10:10-10:30	<b>RIEGLモバイル用スキャナーの最新動向</b> 佐々木公一(リーグルジャパン(株)) (B-4)	津波被害農地の調査におけるタブレットの活用事例 庄林典秀(内外エンジニアリング(株)) (D-4)	人工衛星 SPOT6/7, Pléiadesの特徴と最新動向 田村洋子(㈱サテライトイメージマーケティング) (G-4)	
10:30-10:40	休憩	休憩	休憩	
10:40-11:00	<b>その2:利活用の最新動向</b> 道路管理への利用 真田将英(㈱ウエスコ) (B-5)	ネットワークRTKを利用した地下埋設物探査とその管理 山本恭史(NTTインフラネット) (D-5)	ブラックブリッジ社ラビッドアイ衛星の特徴と活用事例 小川龍矩(パナックス(株)) (G-5)	
11:00-11:20	<b>河川堤防の点検への利用</b> 下嶋恒彰(㈱アスコ) (B-6)	GNSSレベルの利用例 鹿田陽己(㈱トプコン) (D-6)	JAXA衛星の現状と今後の動向 高橋陪夫(独)宇宙航空研究開発機構) (G-6)	
11:20-11:40	<b>鉄道管理への利用</b> 大釜弘志(アジア航測(株)) (B-7)	建設機械のGNSSの最新利用例 佐川清和(コマツ) (D-7)		
11:40-12:00	<b>地域での利活用と今後の展望</b> 早川和夫(㈱ティコク) (B-8)	マルチGNSS時代に向けた電子基準点リアルタイムデータ配信システムの紹介 木寺幸司(㈱日本測量協会) (D-8)	<b>ベンダー最新情報を知る</b> 情報化施工・CIM・点群関係 松本尚之(福井コンピュータ(株)) (H-1)	
12:00-13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00-13:20	<b>UAVとその利活用の最先端を知る</b> UAVを用いた写真測量システム(SfM)ソフトの現状 村木広和(国際航業(株)) (C-1)	<b>CIMと情報化施工の最新動向を知る</b> CIMの現状と建設工事 黒台昌弘(㈱安藤・間) (E-1)	電子基準点データの水準量等の配信 木元昭則(日本テラサット(株)) (H-2)	第26回 <b>「応用測量技術研究発表会」</b>
13:20-13:40	<b>その1:UAV・センサの最新動向</b> UAV機器の最新動向 金子公一(ライカジオシステムズ(株)) (C-2)	<b>CIMと情報化施工の最新動向</b> CIM構築における最新設計ソリューション 田村弥生(オートデスク(株)) (E-2)	ネットワーク型RTK-GNSSの最近の事例 高橋利幸(日本GPSデータサービス(株)) (H-3)	
13:40-14:00	TrimbleUX5の利用事例 藤田義人(ジオサーフ(株)) (C-3)	CIM構築における最新情報化施工 武藤貴士(㈱トプコン) (E-3)	ネットワーク型GNSS-RTK配信を利用した情報化施工 岩田好正(株)ジェノバ) (H-4)	
14:00-14:20	<b>RIEGL VUX-1UAV搭載型レーザースキャナーとシステムの最新動向</b> 佐々木公一(リーグルジャパン(株)) (C-4)	空間情報と三次元設計 亀田雄二(復建調査設計(株)) (E-4)	スマート情報航を利用したソリューションの現状と課題 北原敏夫(株)リプロ) (H-5)	
14:20-14:30	休憩	休憩	休憩	
14:30-14:50	<b>その2:利活用の最新動向</b> 小型無人ヘリロボットを用いた三次元計測・構造物調査 渡辺 豊(ルーチェサーチ(株)) (C-5)	三次元計測技術と設計施工の橋渡し 木村了三(朝日航洋(株)) (E-5)	陰陽図表現とその利用例 秋山幸秀(朝日航洋(株)) (H-6)	
14:50-15:10	<b>RESTECでのUAVの活用事例</b> 遠藤貴宏(一財)リモートセンシング技術センター) (C-6)	3Dモデルと情報化施工を組み合わせた精密施工法 黒台昌弘(㈱安藤・間) (E-6)	高精細地形データを用いた、精密立体模型による微地形・構造物の再現性検証(仮) 木之下章(東京カートグラフィック(株)) (H-7)	
15:10-15:30	<b>災害調査への利用</b> 原田耕平(㈱アスコ) (C-7)	<b>レーザー測量の防災分野での利用を見る</b> 地上・低空・航空からのレーザー測量と防災分野での利用現状 鈴木 寛(朝日航洋(株)) (F-1)	高精細航空機搭載型イメージャー(CAST)による新たな空間情報技術への利活用 吉田夏樹(中日本航空(株)) (H-8)	
15:30-15:40	休憩	休憩	休憩	
15:40-16:00	<b>近代化遺産の記録保存におけるUAV計測技術の紹介</b> 西村正三(㈱計測リサーチコンサルタント) (C-8)	<b>レーザー測量と防災分野での利用動向</b> 山地災害調査への航空レーザー測量の利用 光安利樹(アジア航測(株)) (F-2)	KUMONOSについて 中庭和秀(関西工事測量(株)) (H-9)	
16:00-16:20	<b>ラジヘリによるレーザー計測の精度検証</b> 高野正範(中日本航空(株)) (C-9)	豪雨災害による斜面崩壊への地上レーザー測量活用事例 恩田宏明(㈱テクノス) (F-3)	UAVを用いた空中三角測量による地形図データ整備について 河相亮介(株)かんこう) (H-10)	
16:20-16:40	<b>UAV用画像解析ソフトウェア最新動向</b> 金子順記(株)トプコン) (C-10)	高密度航空レーザー測量による斜面調査のスクリーニング手法 小野貴稔(中日本航空(株)) (F-4)	ジオサーフが提案するGNSSソリューション 藤田義人(ジオサーフ(株)) (H-11)	
16:40-17:00	<b>測量分野におけるUAVの安全飛行に向けた取り組み</b> 鵜飼尚弘(株)ジェノバ) (C-11)	火山災害調査へのレーザー測量の利用 大山容一(国際航業(株)) (F-5)	RIEGLレーザースキャナー 新製品・アプリケーションのご紹介 佐々木公一(リーグルジャパン(株)) (H-12)	
17:00-17:20	<b>ドローンを使った写真測量</b> 伊豆智幸(㈱エンルート) (C-12)	洪水氾濫解析への航空レーザー測量の利用 岡部貴之(㈱バスコ) (F-6)	Survey & VR ~UC-win/Road電子国土地図サービスプラグイン 松田克巳(株)フォーラムエイト) (H-13)	

17:20-17:30 閉会式